

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

初日の出小麦うつすら雪を着て
この年もおだやかなれと待つ日の出
願ひ事決めて静かに年惜む
終ひ湯を独りじめして除夜の鐘
介護日誌書けぬ日多き年の暮

大山さよ子
大山みどり
稲田 文江
福原 仁子
越坂 順子

川柳

浦幌川柳会

不器用な湯呑み並んで笑顔繋ぐ
生きてゐる明日を急がす年の数
孫台風にぎあう果ての初春の膳
逝く人の多きこの年過ぎ去りて
しよぼしよぼの眼をこすりメール開け
いら立ちを震える文字の日記帳
道の駅文殊の知恵で盛り上げる

阿部 麗紅
白木二十重
竹村 鮮明
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
山村 幹雄

川柳

上浦幌句の会

日だまりにかほそきトンボ翅を休め
孫一人増えて楽しき日々有りて
秋深き松葉の庭で冬囲い
師走来て少し片付けしようかな
半世紀戦後未処理の北南島
古希すぎて剣玉遊びにトライする
久しぶり友との会話長電話

芳川 乙美
朝日ヒロエ
笹島カヨ子
河村みよ子
大西 功
山田エツ子
福田すま子

短歌

心友愛会

何時のまに大正昭和平成と
一人暮で米寿の祝い
おお寒い寝巻のままで指かぞえ
老いて歌人は短歌に夢中
雨の中傘を片手に集まりて
ふれあい祭りの楽しいつどい
おばあちゃんお出かけ後は淋しいよ
いつも二人が楽しい暮らし
今日も又古いセータほぐす指
明日はくつ下編み上げようか
秋深み多忙と言いつつこなす終へ
忘れ物あり反省の日々
いつの日か人の言葉に惑わされ
心いたためて北風の中
子等かえり一人暮になんとかなく
心さびしく日々をすごして
一年を犬と一緒に留守番を
客が来るたび吠えて知らせる
誘われて心友愛会の仲間入り
一人暮しも笑が増えたり
孫の世話楽しみながら思い出す
幼なき頃の吾子の姿を
友誘い安き食材買に出る
日溜りの中会話はずみて
冬枯れを優しく隠す雪化粧
逝く人の影風花にのせて

山岸ヒデ子
長屋みよ子
富田さた子
角田美代子
菊地 ウメ
前川 静江
文屋 房子
田代 チエ
堀井あやの
山久保敬子
山岸 明美
山本ひとみ
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、成人式です。47名の新成人がスーツや羽織袴、振袖の晴れ着姿で出席しました。式典後には、懇談会が行われ久々の再会を楽しんでいました。

■20歳パワーですね。キラキラ輝いていました。素敵な晴れ着姿を見るのは楽しみです。

■雪の多い年ですね。「もういらぬいぞ」という声は届かないようです。屋根からの落水雪や車の運転などには十分注意しましょう。

■掲載された写真は、差し上げますので（本人または家族、お気軽にご連絡ください）。

